

データヘルス計画

第2期計画書

最終更新日：平成 30 年 09 月 19 日

東京都農林漁業団体健康保険組合

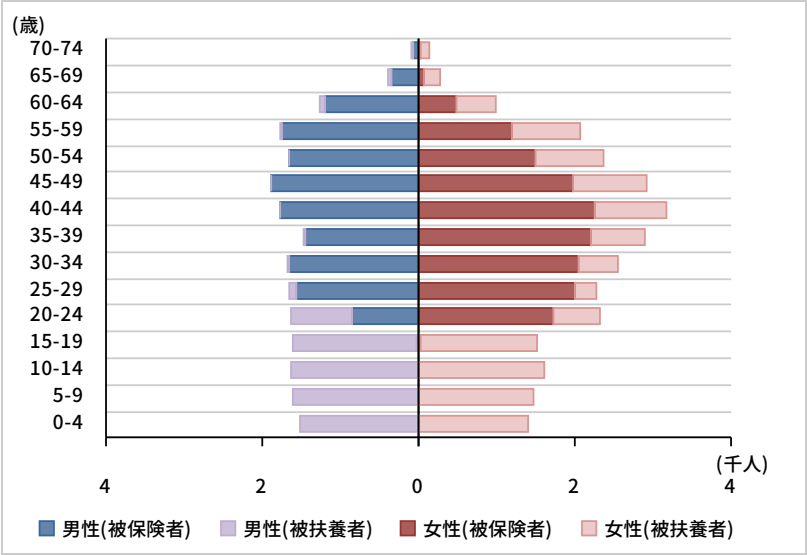
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	27804		
組合名称	東京都農林漁業団体健康保険組合		
形態	総合		
業種	農林水産業		
	平成30年度見込み	平成31年度見込み	平成32年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	29,700名 男性47.8% (平均年齢44.09歳) * 女性52.2% (平均年齢40.08歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	49,640名	-名	-名
適用事業所数	147カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	527カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	96‰	-‰	-‰

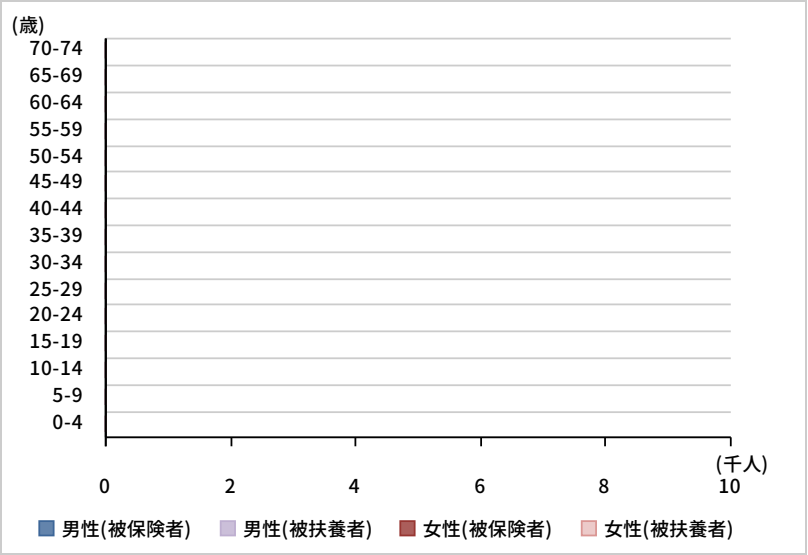
		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	11	-	-	-	-
	保健師等	4	0	-	-	-	-
		第2期における基礎数値					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	16,997 / 20,650 = 82.3 %					
	被保険者	14,605 / 15,892 = 91.9 %					
	被扶養者	2,392 / 4,758 = 50.3 %					
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	94 / 2,940 = 3.2 %					
	被保険者	83 / 2,806 = 3.0 %					
	被扶養者	11 / 134 = 8.2 %					

		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	23,810	802	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	18,670	629	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	41,041	1,382	-	-	-	-
	疾病予防費	1,199,164	40,376	-	-	-	-
	体育奨励費	84,216	2,836	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	99,900	3,364	-	-	-	-
	小計 …a	1,466,801	49,387	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	16,069,375	541,056	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	9.13		-		-	

平成30年度見込み



平成31年度見込み



平成32年度見込み



男性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	17人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	860人	25～29	1,555人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,664人	35～39	1,437人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,778人	45～49	1,885人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,660人	55～59	1,752人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,187人	65～69	344人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	61人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	28人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,729人	25～29	2,008人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	2,044人	35～39	2,199人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2,249人	45～49	1,979人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,488人	55～59	1,194人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	487人	65～69	72人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	23人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	1,511人	5～9	1,608人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,643人	15～19	1,584人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	786人	25～29	87人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	22人	35～39	20人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	4人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	5人	55～59	19人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	62人	65～69	35人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	25人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	1,412人	5～9	1,479人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,613人	15～19	1,496人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	606人	25～29	266人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	506人	35～39	691人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	925人	45～49	950人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	878人	55～59	871人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	509人	65～69	212人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	111人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

1. 東京都内の総合健保では中規模（被保険者数約3万人、加入者数約5万人）である。
2. 事業所の拠点が全国にあり、加入者も点在している。
3. 被保険者の分布について、関東地区は43%、その他の地区が57%の割合である。
4. 被保険者の男女の内訳では、男性47.8%、女性52.2%と女性の比率が高くなっている。
5. 当健保組合には医療専門職が不在である。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴	
1. 生活習慣病のリスク保有者への対策は特定保健指導のみである。	
2. 健診受診率については被保険者の90％超に対し、被扶養者は50％台と低い。	
3. 体育奨励事業は、ほぼ横ばいの参加者数で推移している。	

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	育児情報誌配付
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	後発医薬品差額通知
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳ドック
疾病予防	肺検査
疾病予防	歯科検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	こころとからだの健康相談
疾病予防	メンタルヘルスセミナー
疾病予防	らくらく禁煙コンテスト
疾病予防	家庭常備薬配付
体育奨励	潮干狩り大会
体育奨励	軟式野球大会
体育奨励	リフレッシュウォーク
体育奨励	ビーチボール大会
体育奨励	ウォークラリー
体育奨励	ボウリング大会
体育奨励	指定宿泊施設
体育奨励	レジャー施設
体育奨励	体育契約施設
体育奨励	事業所別体育奨励
体育奨励	ハッピーウォーク
体育奨励	保養施設の利用補助

事業主の取組	
1	体育奨励

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	5	機関紙発行	【目的】情報発信（組合の各種事業案内や予算・決算報告・健康コラム） 【概要】事業所宛てに一括送付。担当者より被保険者に配付	被保険者	全て	男女	18～74	全員	10,683	機関紙年5回 保健事業特集号1回	各種事業・業務関係の情報を掲載し周知を図る	自宅へ持ち帰らず家族との情報共有が不足している場合がある	4
	5	育児情報誌配付	【目的】子育て支援事業として育児の情報を提供 【概要】第1子・第2子を出産した希望者に配布	被保険者 被扶養者	全て	女性	18～74	全員	1,122	申込者数：138名	月刊誌及び離乳食等様々な育児冊子を月齢に合わせて配付	-	4
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健診	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】無料で実施	被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	16,677	受診者数：20名	全国各地の健診機関で実施する人間ドック・生活習慣病健診が特定健診を兼ねている	特定健診に対する認識不足	2
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】特定保健指導の実施率向上 【概要】本人と事業所担当者宛に案内を送付して実施（無料）	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	2,103	実施者数：127名 動機づけ支援：42名 積極的支援：85名	申込人数により事業所での面談可能	健診機関を限定しているため実施率が低迷 今後拡充の予定あり	1
保健指導宣伝	8	医療費通知	【目的】医療費のコスト意識喚起及び受診状況の確認 【概要】事業所宛てに一括送付。担当者より該当被保険者に配付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	3,168	上期（1～6月診療分）と下期（7～12月診療分）の2回通知	被扶養者についても個人ごとに通知	-	4
	8	後発医薬品差額通知	【目的】後発医薬品の利用促進 【概要】服薬中の先発薬と後発医薬品との差額を通知	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	2,410	8月・12月・2月の3回通知	通知に「ジェネリック医薬品お願いカード」を同封 花粉症患者向けの案内を追加して実施	-	4
疾病予防	3	生活習慣病健診	【目的】生活習慣病のスクリーニング検査 【概要】無料で実施（オプション検査含む）	被保険者 被扶養者	全て	男女	35～74	基準該当者	101,556	受診者数： 被保険者 3,981名 被扶養者（配偶者） 1,364名	無料（オプション検査含む）で実施、女性は会場健診も選択可	配偶者の受診率向上	4
	3	人間ドック	【目的】生活習慣病やがんなどの疾病の早期発見 【概要】自己負担5,400円で実施（オプション検査無料）	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	593,343	受診者数： 被保険者14,726名 被扶養者（配偶者）1,452名	自己負担額を抑え、オプション検査は無料で実施	配偶者の受診率向上	4
	3	脳ドック	【目的】脳血管疾患の早期発見 【概要】MRI・MRA検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	25,558	受診者数：2,544名	10,800円まで補助金を支給	-	4
	3	肺検査	【目的】肺がん等の早期発見 【概要】喀痰検査・胸部CT検査	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	24,373	受診者数：4,659名	5,400円まで補助金を支給	-	4
	3	歯科検診	【目的】口腔疾病の予防啓発と歯科医療費の縮減 【概要】無料の歯科検診（出張）を事業所単位で実施	被保険者	全て	男女	18～74	基準該当者	16,200	-	-	-	-
	3	インフルエンザ予防接種補助	【目的】インフルエンザ予防接種の奨励 【概要】接種後事業所単位で補助金を請求	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～64	全員	85,569	接種者数：28,663名	事前申込不要、事業所取りまとめにより個人の負担軽減	-	4

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	6	こころとからだの健康相談	【目的】 身体やメンタルの無料相談窓口として開設 【概要】 年中無休・24時間体制で電話やメールにて対応	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	2,592	健康相談：75件 メンタル相談：126件	メンタル面談は1人5回まで無料で実施		4
	5	メンタルヘルスセミナー	【目的】 働く人のメンタルヘルスに関する情報提供 【概要】 役員・管理職・人事担当者を対象に年1回実施	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	612	N Sスカイカンファレンスで開催 出席者数：41事業所・69名	ストレスマネジメントの一環として「セルフケアと睡眠」をテーマに開催		4
	5	らくらく禁煙コンテスト	【目的】 喫煙者の禁煙実行支援 【概要】 専用プログラムで1ヵ月の禁煙にチャレンジ	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ～ 74	全員	65	申込者数：13名 禁煙成功者：4名		禁煙に対する意識付けが不足	2
	3	家庭常備薬配付	【目的】 セルフメディケーションの意識づけと受診抑制 【概要】 規定ポイントを上限に選択制で実施	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	78,417	申込者数：27,770名	選択制により実施 2,000円相当額まで無償で配付		4
体育奨励	8	潮干狩り大会	【目的】 潮干狩りで自然体験 【概要】 開催日に団体券で入場して実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	全員	628	ふなばし三番瀬海浜公園で開催 参加者数：32事業所・560名	1人につきあさり1k gまで無料		4
	8	軟式野球大会	【目的】 健康増進及び親睦を図る事業として実施 【概要】 事業所単位でチーム編成。予選大会・決勝大会ともトーナメントで実施	被保険者	全て	男性	18 ～ 74	全員	1,908	町田市の野球場で開催 参加者数：21事業所・555名	観客席完備の市民球場の使用で参加意欲を高める		4
	8	リフレッシュウォーク	【目的】 健康づくり並びに親睦を図る事業として実施 【概要】 開催日にチケットを配付。フリーでアトラクションを楽しむ	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	全員	13,366	東京ディズニーシーで開催 参加者数：62事業所・1,502名	通常料金の半額以下で利用 団体プログラム（パーティー）を同時開催		4
	8	ビーチボール大会	【目的】 健康増進及び親睦を図る事業として実施 【概要】 各チーム4試合を行い勝ち点で順位を決定	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	523	出版健保すこやかプラザで開催 参加者数：11事業所・157名	誰でも気軽にできるスポーツとして人気が上昇		4
	8	ウォークラリー	【目的】 健康増進及び親睦を図る事業として実施 【概要】 首都圏や地方のウォーキングコースで実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	基準該当者	3,319	ラフォーレ倶楽部のリゾートホテルで開催 5月（白馬）・9月（山中湖）・11月（南紀白浜）の3回開催 参加者数：白馬 8事業所・16名 山中湖 13事業所・38名 南紀白浜 14事業所・34名	毎回異なる地域で実施、地方開催は宿泊込み		4
	8	ボウリング大会	【目的】 健康増進及び親睦を図る事業として実施 【概要】 1人3ゲームを投げ順位を決定	被保険者 被扶養者	全て	男女	7 ～ 74	全員	1,053	品川プリンスホテルボウリングセンターで開催 参加者数：19事業所・154名	プロのデモ投球やアドバイスで参加意欲を向上		4
	8	指定宿泊施設	【目的】 保養とリフレッシュ 【概要】 伊豆の民宿と年間契約による開設	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ～ 74	全員	416	民宿「げんば丸」を開設 利用者数：79名・112泊		競合するホテル・旅館等の低料金化により民宿の人気の低下	2
	8	レジャー施設	【目的】 全国主要都市のレジャー施設を利用 【概要】 年間契約・シーズン（夏季・冬季）契約による開設	被保険者 被扶養者	全て	男女	3 ～ 74	全員	8,522	利用者数年間：5,792名 夏季：1,190名 冬季：1,461名	補助金支給により利用者の負担軽減		4
	8	体育契約施設	【目的】 健康増進事業として実施 【概要】 コナミスポーツとの契約による開設	被保険者 被扶養者	全て	男女	16 ～ 74	全員	21,371	利用者数：6,772名	補助金支給により利用者の負担軽減		4
	8	事業所別体育奨励	【目的】 首都圏以外の事業所主催行事の支援 【概要】 1人あたり1,500円を上限に補助金を支給	被保険者	一部の事業所	男女	18 ～ 74	全員	3,524	実施者数：30事業所・1,887名	補助金支給により首都圏事業所との格差是正		4
	8	ハッピーウォーク	【目的】 健康づくり並びに親睦を図る事業として実施 【概要】 開催日にチケットを配付。フリーでアトラクションを楽しむ	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	-	6,125	ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで実施 参加者数：37事業所 357名	通常料金の半額以下でパークを利用 団体プログラム（パーティー）を同時開催		3
	8	保養施設の利用補助	【目的】 保養とリフレッシュ 【概要】 年間3泊を限度に補助金を支給	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	81,399	年間実施 利用泊数：27,133泊	契約・契約外を問わず補助金を支給 海外旅行も対象		4

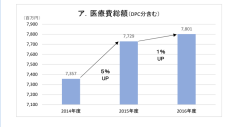
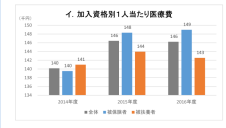
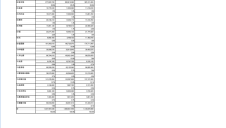
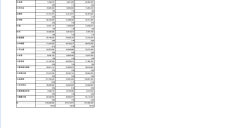
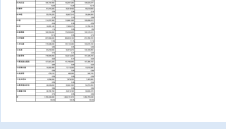
注 1） 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導 5．健康教育 6．健康相談 7．訪問指導 8．その他

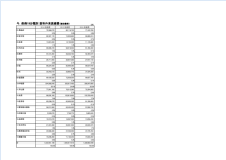
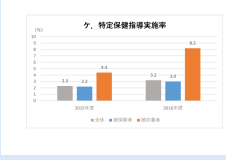
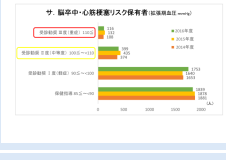
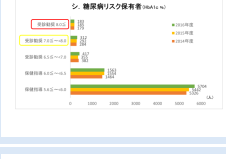
注 2） 1．39%以下 2．40%以上 3．60%以上 4．80%以上 5．100%

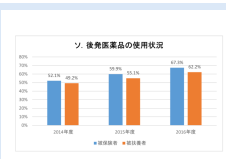
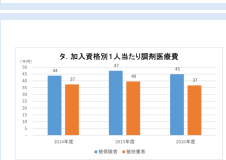
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
体育奨励	-	-	-	～ -	-	-	-	-

STEP1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

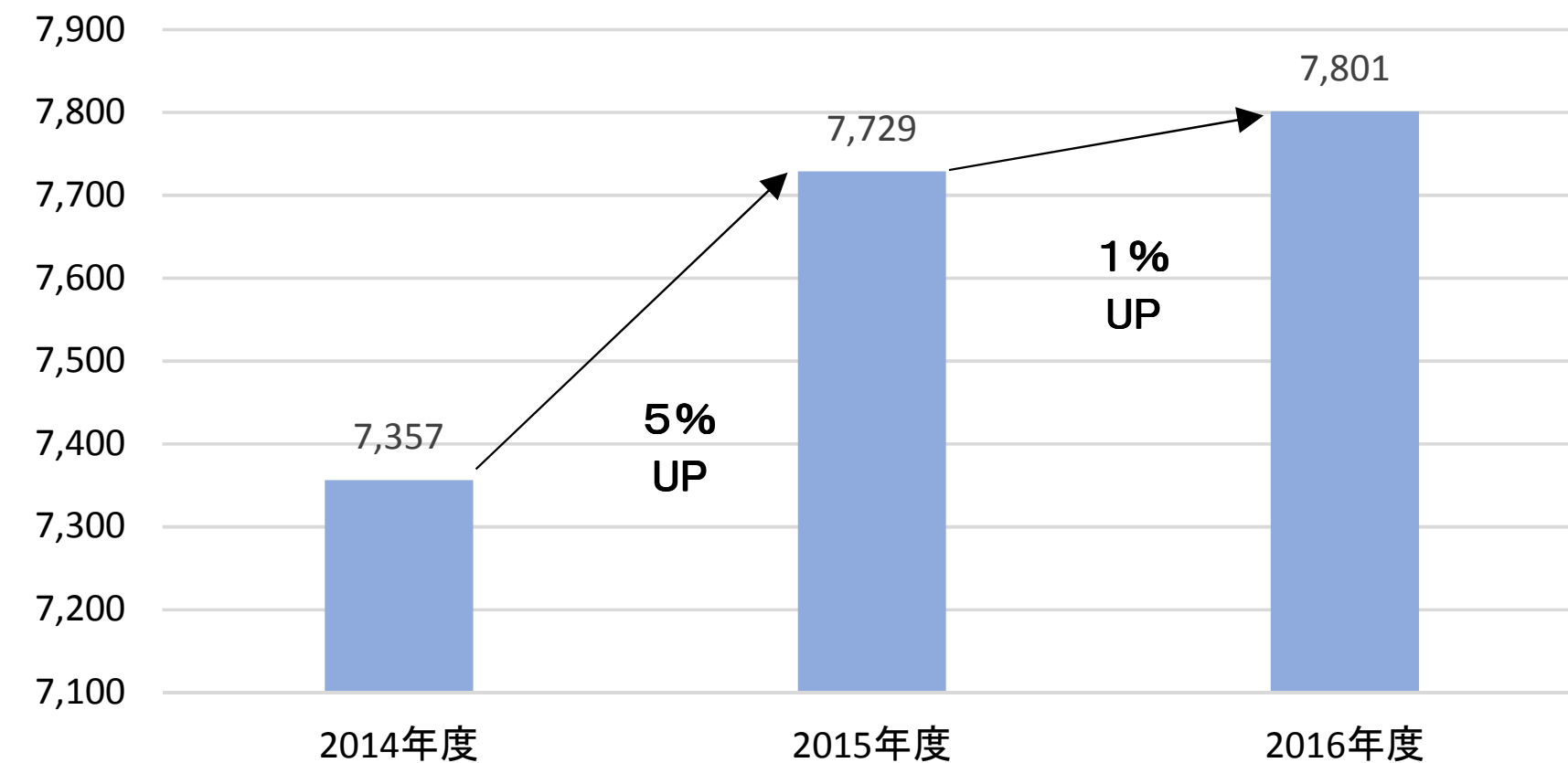
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		ア. 医療費総額動向(3ヵ年)	医療費・患者数分析	-
イ		イ. 加入資格別1人当たり医療費動向(3ヵ年)	医療費・患者数分析	-
ウ		ウ. 医療費区分別・加入資格別の状況(3ヵ年)	医療費・患者数分析	-
エ		エ. 疾病19分類別医科入院医療費(被保険者・3ヵ年)	医療費・患者数分析	-
オ		オ. 疾病19分類別医科入院医療費(被扶養者・3ヵ年)	医療費・患者数分析	-
カ		カ. 疾病19分類別医科外来医療費(被保険者・3ヵ年)	医療費・患者数分析	-

キ		キ. 疾病19分類別医科外来医療費(被扶養者・3ヵ年)	医療費・患者数分析	-
ク		ク. 特定健診実施率(2ヵ年)	特定健診分析	-
ケ		ケ. 特定保健指導実施率(2ヵ年)	特定保健指導分析	-
コ		コ. 脳卒中・心筋梗塞リスク保有者(収縮期血圧、3ヵ年).	健康リスク分析	-
サ		サ. 脳卒中・心筋梗塞リスク保有者(拡張期血圧、3ヵ年)	健康リスク分析	-
シ		シ. 糖尿病リスク保有者(HbA1c、3ヵ年)	健康リスク分析	-
ス		ス. 脂質異常症リスク保有者(LDL-C、3ヵ年)	健康リスク分析	-

セ		セ. 加入資格別歯科医療費動向(3ヵ年)	医療費・患者数分析	-
ソ		ソ. 加入資格別後発医薬品の使用状況(3ヵ年)	後発医薬品分析	-
タ		タ. 加入資格別1人当たり調剤医療費動向(3ヵ年)	医療費・患者数分析	-

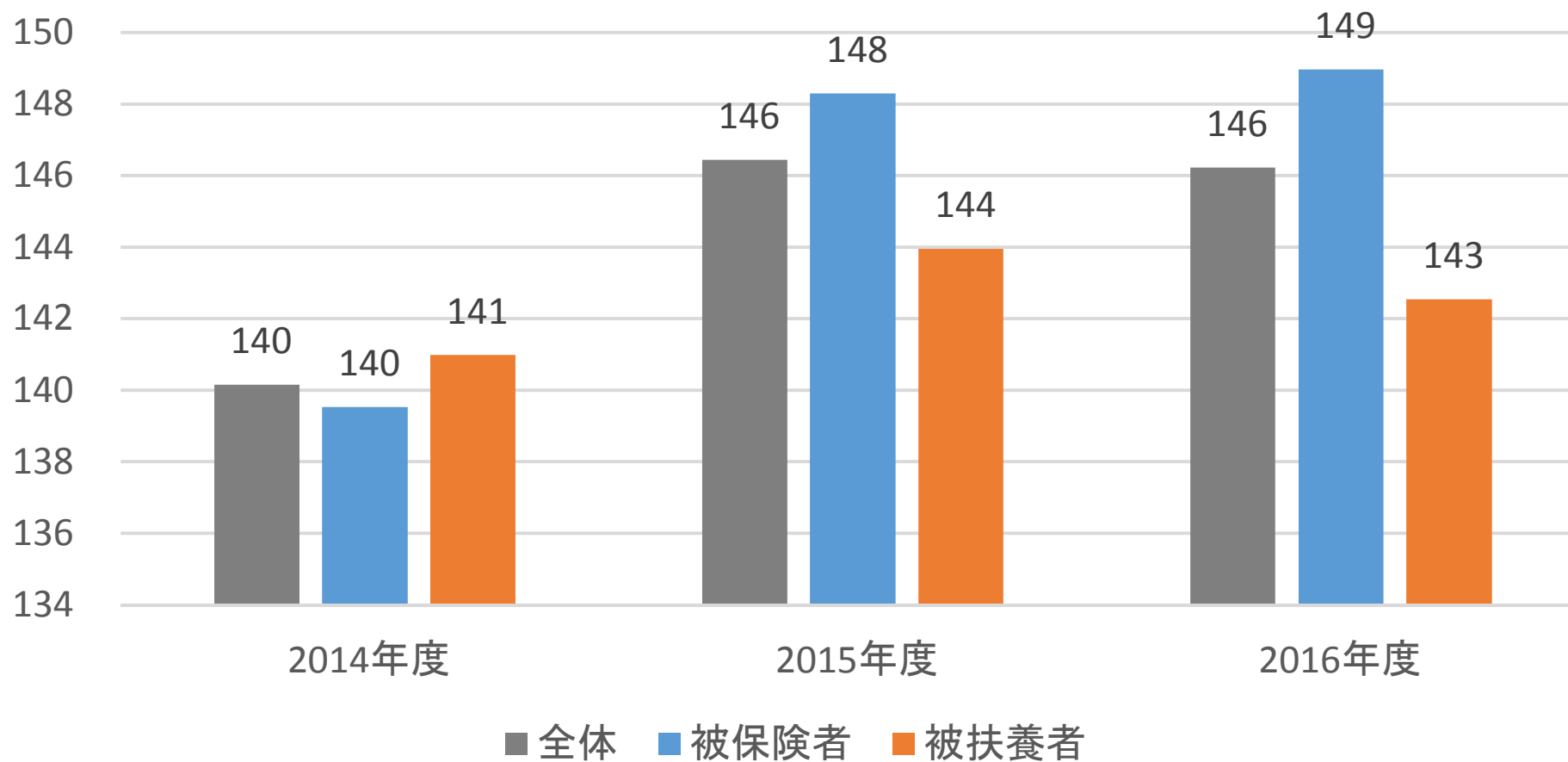
ア. 医療費総額(DPC分含む)

(百万円)

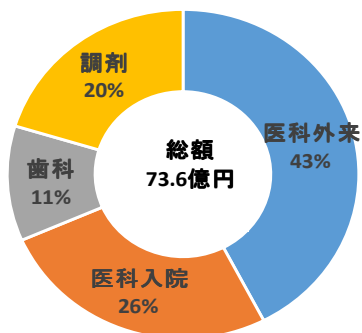


イ. 加入資格別1人当たり医療費

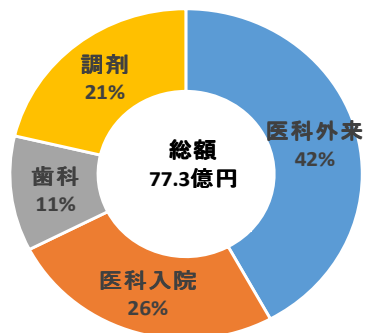
(千円)



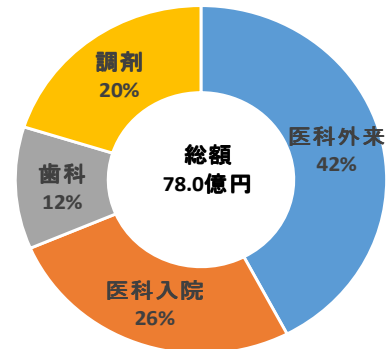
ウ. 医療費区分別の状況(2014年度)



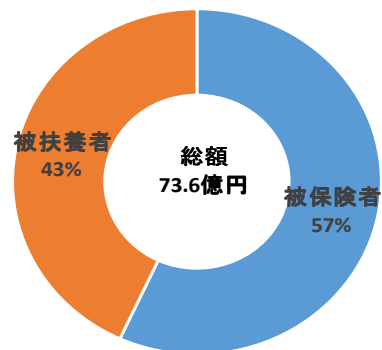
医療費区分別の状況(2015年度)



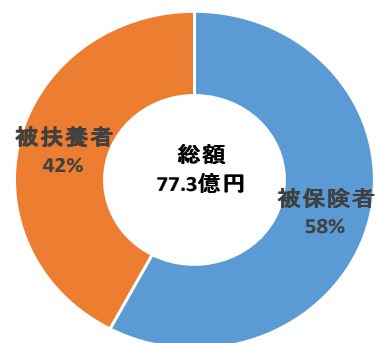
医療費区分別の状況(2016年度)



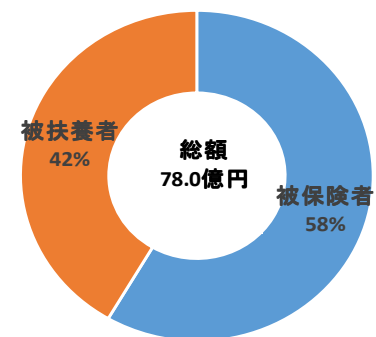
加入資格区分別の状況(2014年度)



加入資格区分別の状況(2015年度)



加入資格区分別の状況(2016年度)



工. 疾病19分類別 医科入院医療費(被保険者)

(円)

	2014 医療費	2015 医療費	2016 医療費
01:感染症	25,625,010	25,298,680	19,486,500
	2.5%	2.3%	1.7%
02:新生物	277,620,730	285,810,380	325,101,260
	26.8%	26.2%	28.8%
03:血液	12,772,240	11,055,090	11,018,040
	1.2%	1.0%	1.0%
04:内分泌	16,571,980	17,202,590	15,281,450
	1.6%	1.6%	1.4%
05:精神	20,169,310	14,359,170	15,103,450
	1.9%	1.3%	1.3%
06:神経	14,061,130	18,786,510	22,485,520
	1.4%	1.7%	2.0%
07:眼	23,277,350	16,563,130	21,744,820
	2.2%	1.5%	1.9%
08:耳	8,980,160	5,468,730	11,462,940
	0.9%	0.5%	1.0%
09:循環器	161,963,810	180,729,070	176,711,960
	15.6%	16.6%	15.6%
10:呼吸器	35,058,570	32,915,640	39,493,070
	3.4%	3.0%	3.5%
11:消化器	86,794,810	108,921,940	88,533,950
	8.4%	10.0%	7.8%
12:皮膚	9,476,740	10,797,700	8,150,140
	0.9%	1.0%	0.7%
13:筋骨格	66,502,030	62,125,090	86,285,360
	6.4%	5.7%	7.6%
14:腎尿路生殖系	38,570,280	46,266,630	51,012,800
	3.7%	4.2%	4.5%
15:妊婦分娩	141,978,290	143,587,800	137,107,260
	13.7%	13.2%	12.1%
16:周産期	4,166,980	7,887,760	2,121,280
	0.4%	0.7%	0.2%
17:先天奇形	5,964,160	10,652,090	3,730,320
	0.6%	1.0%	0.3%
18:異常臨床所見	7,394,360	7,841,940	4,061,350
	0.7%	0.7%	0.4%
19:損傷中毒	80,543,690	82,561,510	91,333,510
	7.8%	7.6%	8.1%
計	1,037,491,630	1,088,831,450	1,130,224,980
	100.0%	100.0%	100.0%

才. 疾病19分類別 医科入院医療費(被扶養者)

(円)

	2014 医療費	2015 医療費	2016 医療費
01:感染症	23,391,280	29,305,520	19,487,080
	2.7%	3.3%	2.1%
02:新生物	159,493,940	104,127,060	123,720,690
	18.1%	11.9%	13.5%
03:血液	7,448,970	9,631,000	26,484,500
	0.8%	1.1%	2.9%
04:内分泌	15,803,460	12,603,920	14,294,430
	1.8%	1.4%	1.6%
05:精神	51,441,870	61,212,470	55,767,820
	5.9%	7.0%	6.1%
06:神経	28,742,900	61,288,350	40,151,200
	3.3%	7.0%	4.4%
07:眼	13,467,170	11,568,500	13,548,610
	1.5%	1.3%	1.5%
08:耳	15,429,090	10,619,210	9,754,730
	1.8%	1.2%	1.1%
09:循環器	50,748,020	64,956,100	73,134,240
	5.8%	7.4%	8.0%
10:呼吸器	71,244,620	65,763,210	68,672,550
	8.1%	7.5%	7.5%
11:消化器	43,057,580	43,089,880	53,273,400
	4.9%	4.9%	5.8%
12:皮膚	8,648,120	10,859,460	10,874,300
	1.0%	1.2%	1.2%
13:筋骨格	51,748,760	69,356,510	71,482,760
	5.9%	7.9%	7.8%
14:腎尿路生殖系	32,691,410	34,829,970	28,918,660
	3.7%	4.0%	3.2%
15:妊婦分娩	57,519,530	50,423,140	52,994,200
	6.5%	5.8%	5.8%
16:周産期	131,752,940	97,087,920	104,627,400
	15.0%	11.1%	11.4%
17:先天奇形	48,280,980	55,936,200	54,958,890
	5.5%	6.4%	6.0%
18:異常臨床所見	7,585,270	16,748,480	8,310,540
	0.9%	1.9%	0.9%
19:損傷中毒	60,403,650	65,903,570	84,112,350
	6.9%	7.5%	9.2%
計	878,899,560	875,310,470	914,568,350
	100.0%	100.0%	100.0%

力. 疾病19分類別 医科外来医療費(被保険者)

(円)

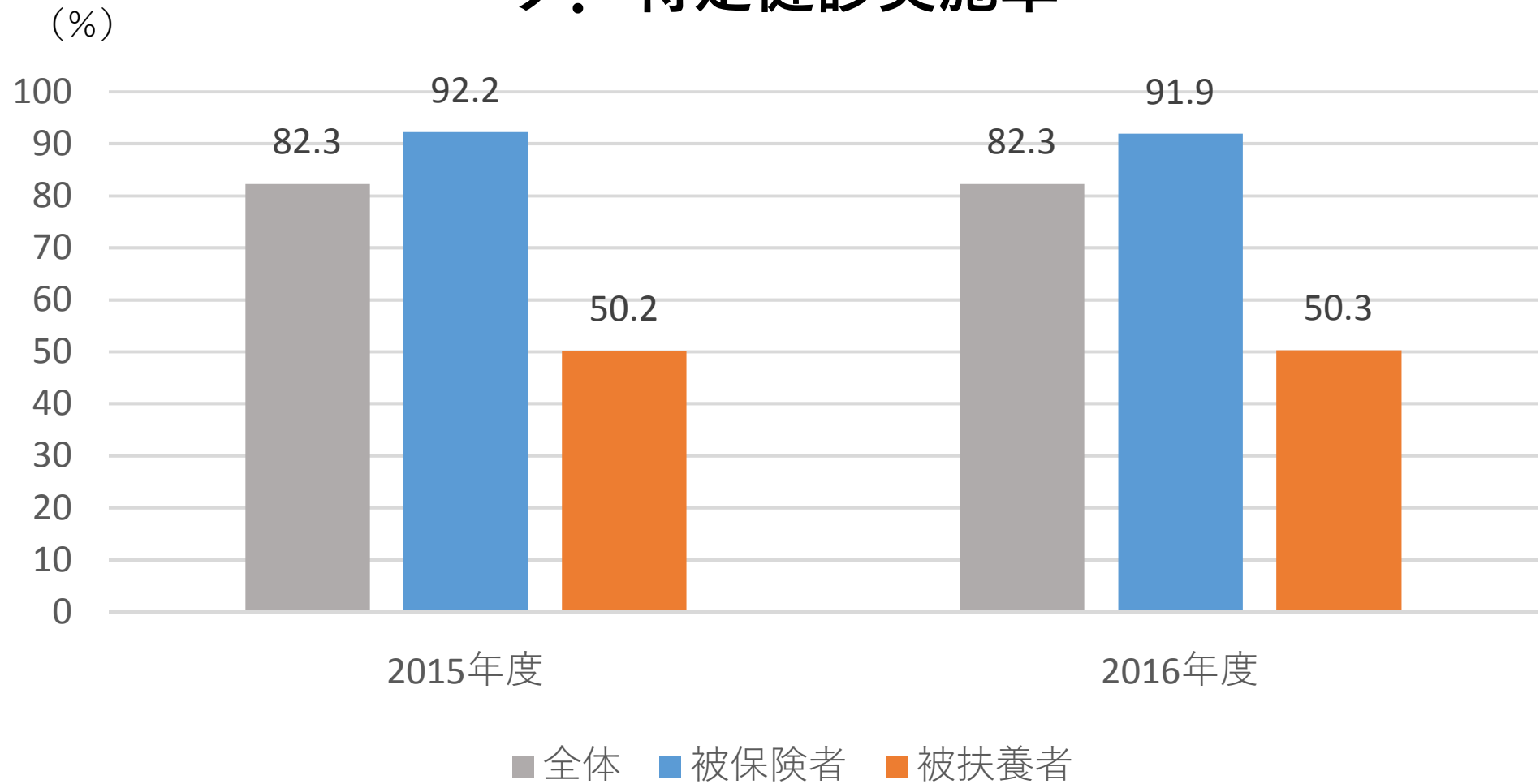
	2014 医療費	2015 医療費	2016 医療費
01:感染症	71,037,940	69,496,550	75,703,910
	4.0%	3.7%	3.9%
02:新生物	187,307,810	223,504,070	234,256,210
	10.5%	11.9%	11.9%
03:血液	19,287,980	26,626,440	31,624,190
	1.1%	1.4%	1.6%
04:内分泌	186,700,480	192,697,280	198,035,870
	10.5%	10.2%	10.1%
05:精神	61,918,320	63,018,420	60,210,650
	3.5%	3.3%	3.1%
06:神経	55,076,250	58,837,010	59,296,090
	3.1%	3.1%	3.0%
07:眼	114,070,760	118,881,030	122,839,910
	6.4%	6.3%	6.3%
08:耳	19,855,140	17,809,370	19,758,100
	1.1%	0.9%	1.0%
09:循環器	180,334,850	179,352,630	190,143,510
	10.1%	9.5%	9.7%
10:呼吸器	207,669,020	208,642,120	218,768,720
	11.6%	11.1%	11.1%
11:消化器	175,506,600	187,144,390	193,575,190
	9.8%	9.9%	9.9%
12:皮膚	84,240,590	95,673,270	103,185,660
	4.7%	5.1%	5.3%
13:筋骨格	146,699,960	153,513,290	161,036,340
	8.2%	8.1%	8.2%
14:腎尿路生殖系	157,827,290	161,480,890	167,388,160
	8.8%	8.6%	8.5%
15:妊婦分娩	15,523,490	17,112,300	15,912,280
	0.9%	0.9%	0.8%
16:周産期	476,010	480,000	349,740
	0.0%	0.0%	0.0%
17:先天奇形	4,256,950	7,878,330	7,463,990
	0.2%	0.4%	0.4%
18:異常臨床所見	49,930,690	52,991,520	54,274,050
	2.8%	2.8%	2.8%
19:損傷中毒	48,729,750	49,012,760	50,932,470
	2.7%	2.6%	2.6%
計	1,786,449,880	1,884,151,670	1,964,755,040
	100.0%	100.0%	100.0%

キ. 疾病19分類別 医科外来医療費(被扶養者)

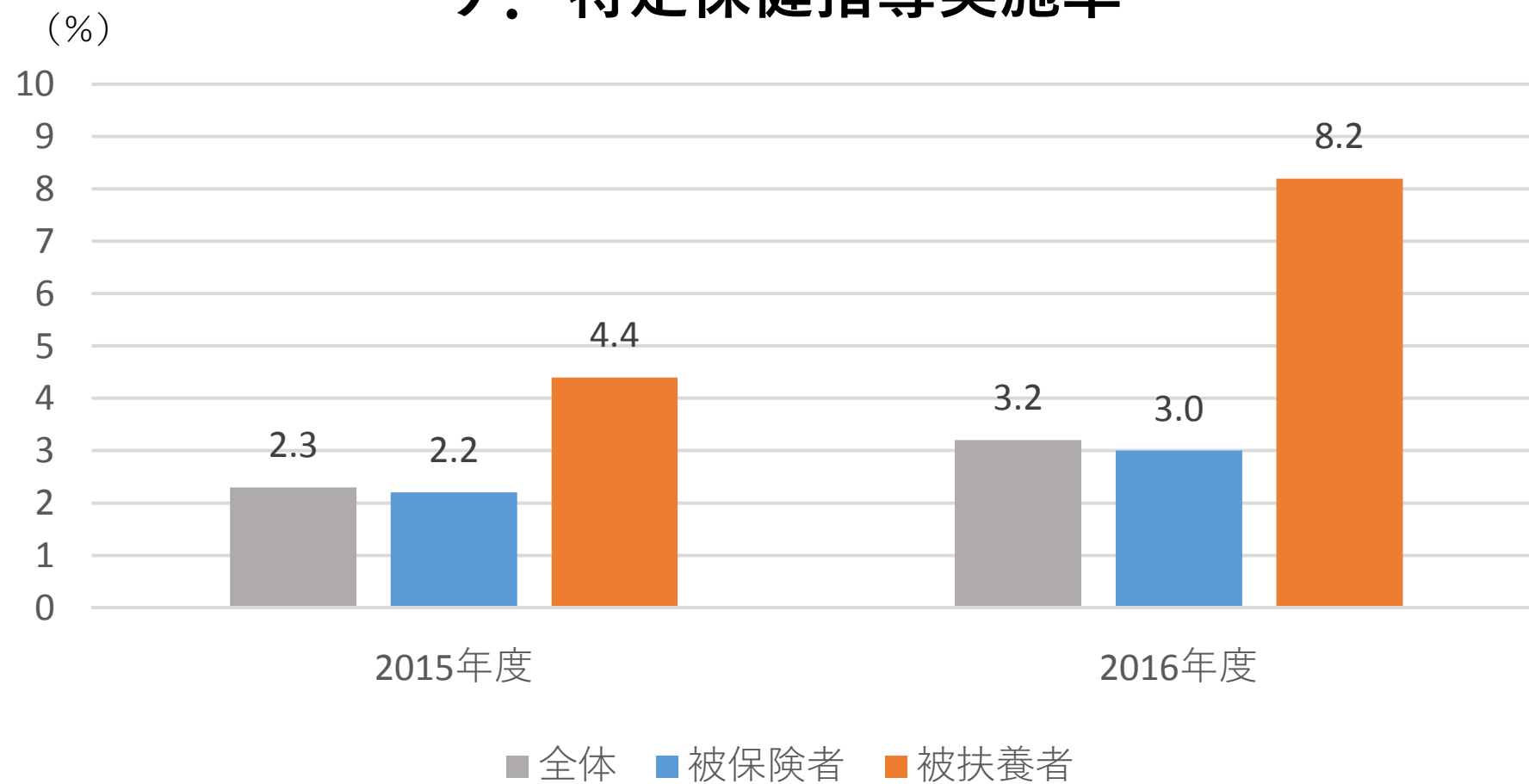
(円)

	2014 医療費	2015 医療費	2016 医療費
01:感染症	70,368,070	80,118,730	77,440,780
	5.3%	5.9%	5.8%
02:新生物	82,397,170	74,630,820	89,866,810
	6.2%	5.5%	6.7%
03:血液	14,991,690	14,152,000	11,135,880
	1.1%	1.0%	0.8%
04:内分泌	96,098,470	98,518,530	81,459,300
	7.2%	7.2%	6.1%
05:精神	54,181,260	58,323,720	59,484,670
	4.1%	4.3%	4.4%
06:神経	29,711,960	28,847,000	27,647,140
	2.2%	2.1%	2.1%
07:眼	86,224,500	85,666,380	86,637,640
	6.5%	6.3%	6.5%
08:耳	33,343,510	32,803,770	31,834,200
	2.5%	2.4%	2.4%
09:循環器	69,435,520	72,038,530	68,657,700
	5.2%	5.3%	5.1%
10:呼吸器	334,582,040	335,917,450	339,247,690
	25.1%	24.6%	25.3%
11:消化器	77,961,100	78,313,390	72,594,660
	5.8%	5.7%	5.4%
12:皮膚	98,252,190	102,810,650	103,725,640
	7.4%	7.5%	7.7%
13:筋骨格	85,206,970	83,900,320	81,326,660
	6.4%	6.1%	6.1%
14:腎尿路生殖系	56,213,390	62,404,400	57,859,730
	4.2%	4.6%	4.3%
15:妊婦分娩	5,500,270	7,796,770	5,865,840
	0.4%	0.6%	0.4%
16:周産期	10,315,270	16,067,530	10,058,430
	0.8%	1.2%	0.8%
17:先天奇形	21,001,080	25,061,530	22,840,370
	1.6%	1.8%	1.7%
18:異常臨床所見	34,568,300	37,420,550	37,476,450
	2.6%	2.7%	2.8%
19:損傷中毒	73,208,380	71,125,340	73,503,350
	5.5%	5.2%	5.5%
計	1,333,561,140	1,365,917,410	1,338,662,940
	100.0%	100.0%	100.0%

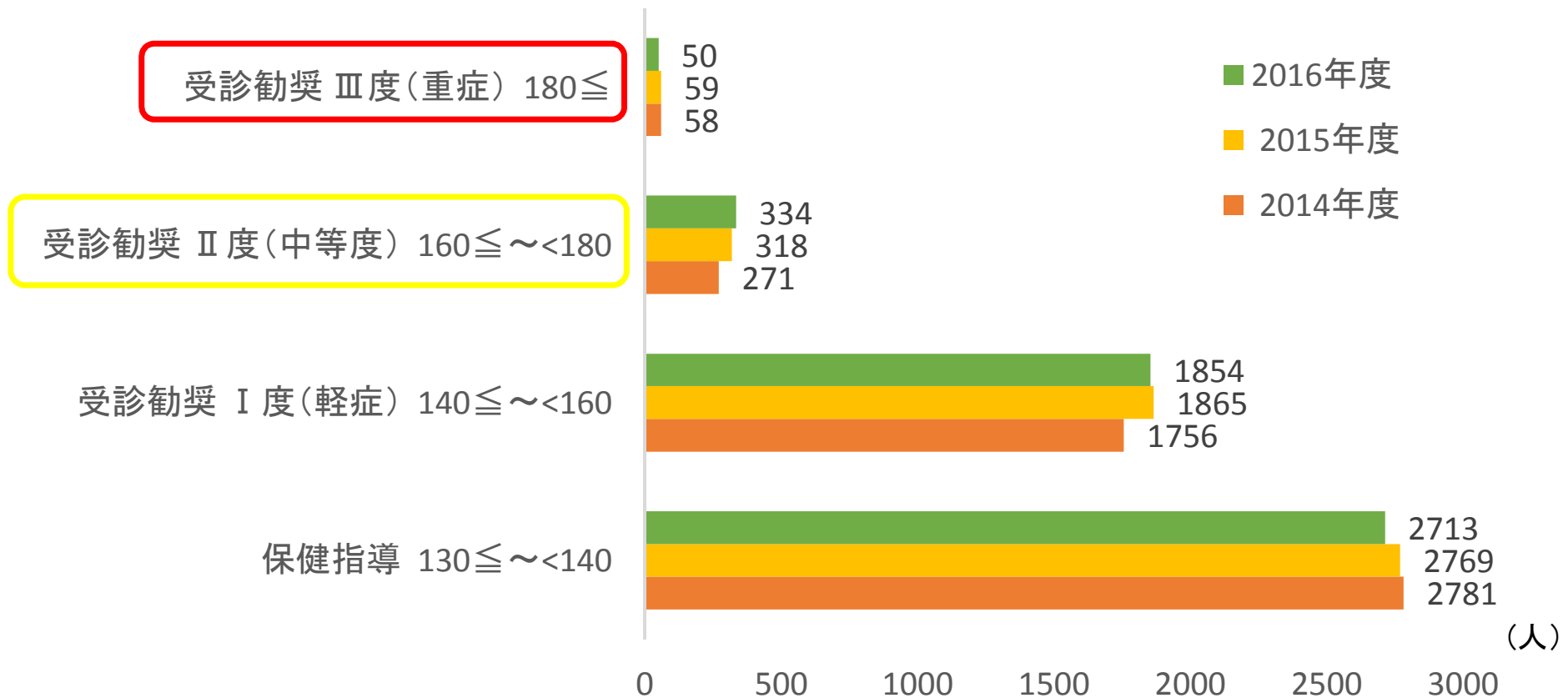
ク. 特定健診実施率



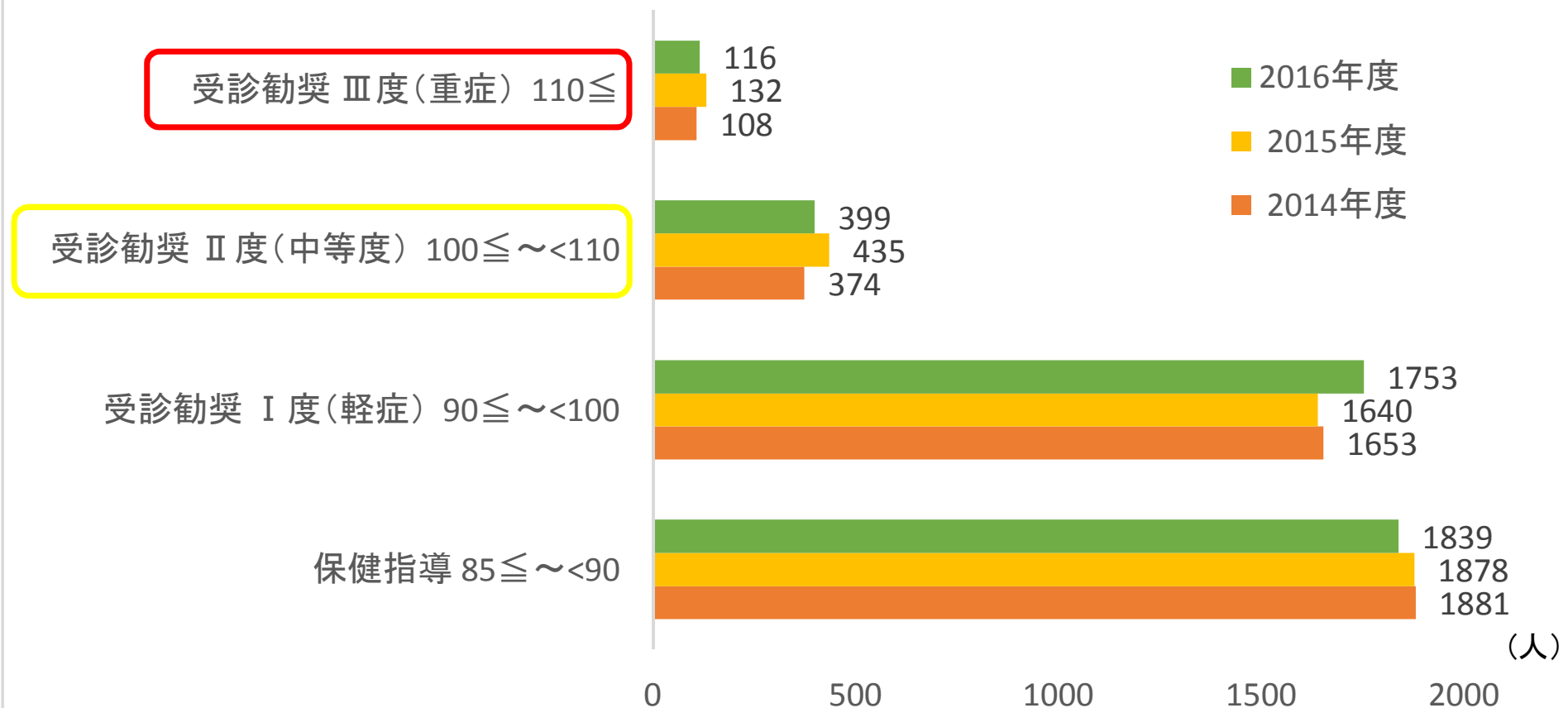
ケ. 特定保健指導実施率



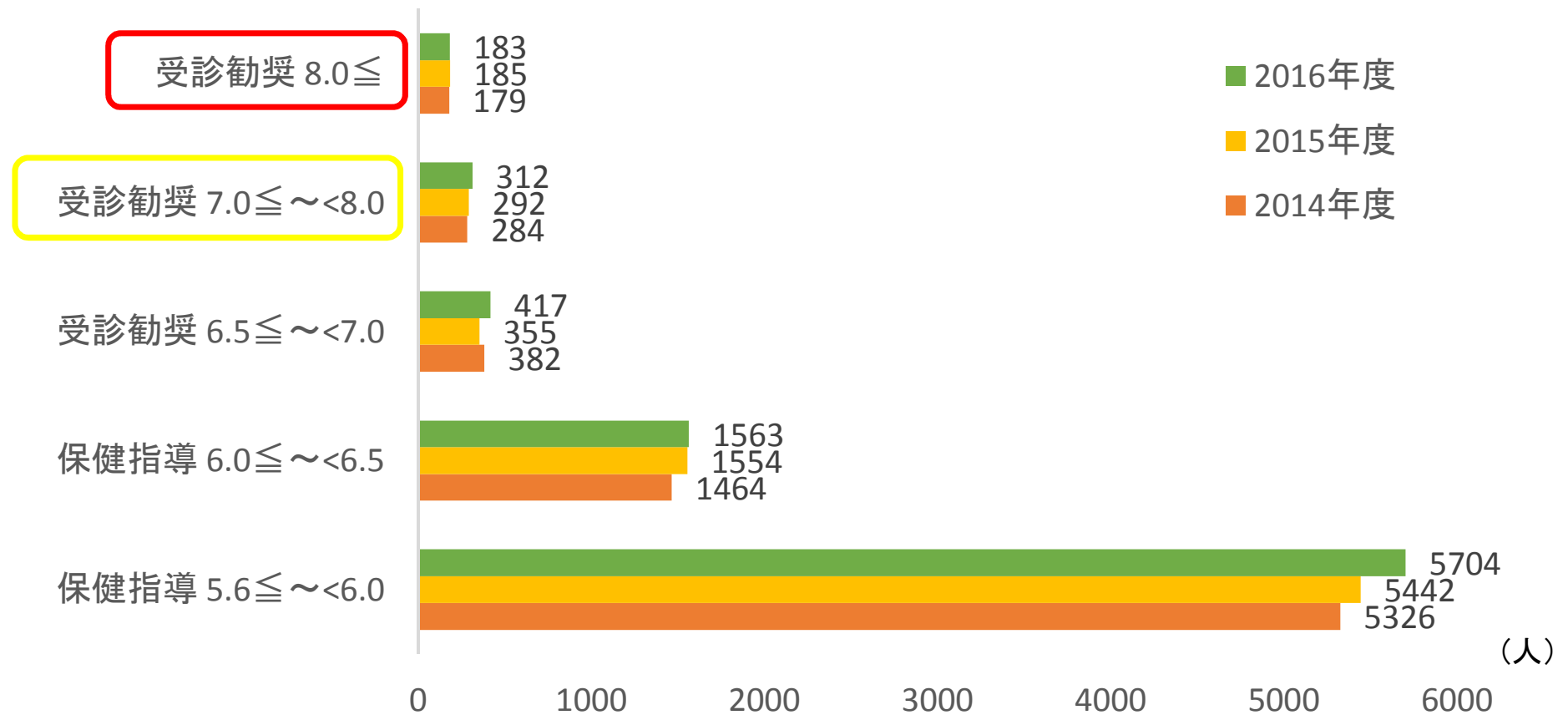
コ. 脳卒中・心筋梗塞リスク保有者(収縮期血圧 mmHg)



サ. 脳卒中・心筋梗塞リスク保有者(拡張期血圧 mmHg)



シ. 糖尿病リスク保有者 (HbA1c %)

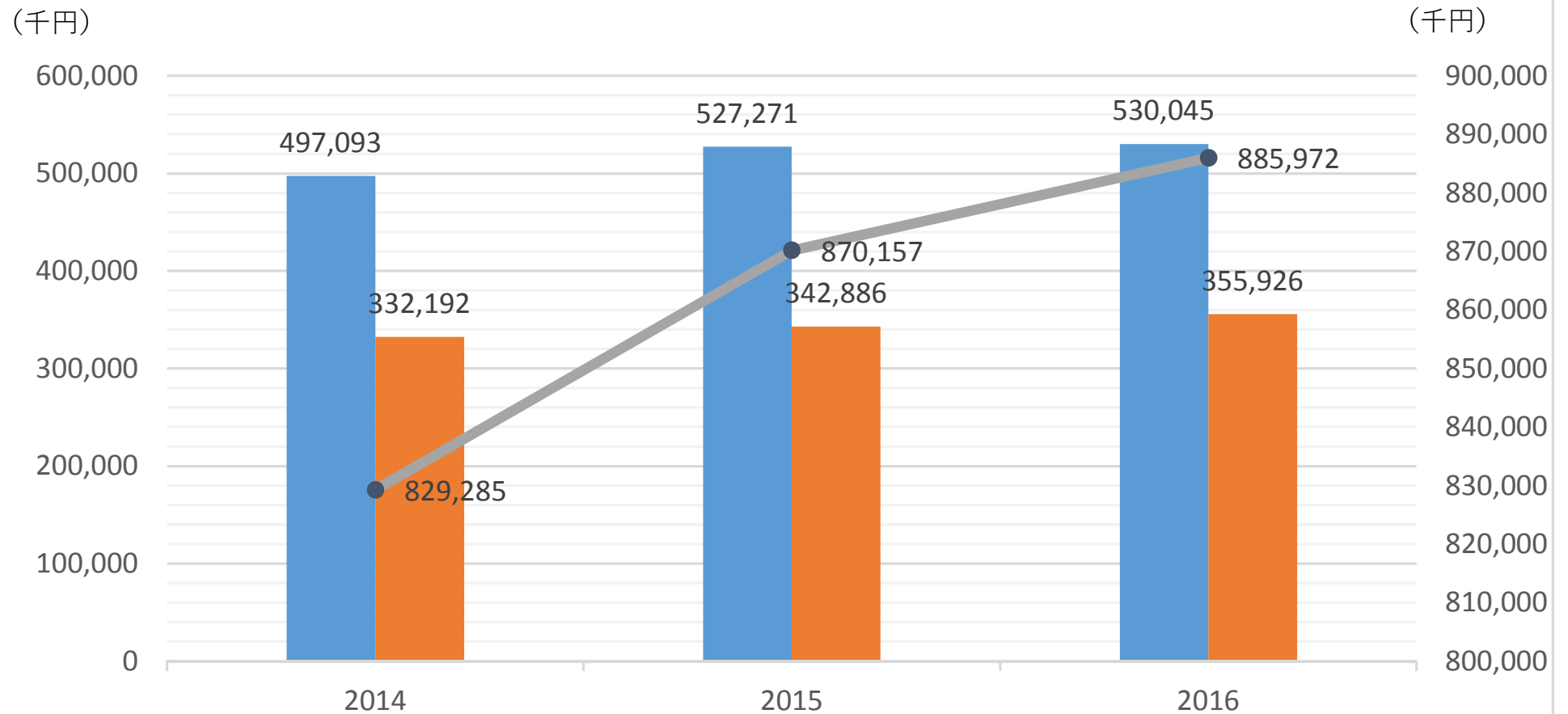


ス. 脂質異常症リスク保有者 (LDLコレステロールmg/dℓ)

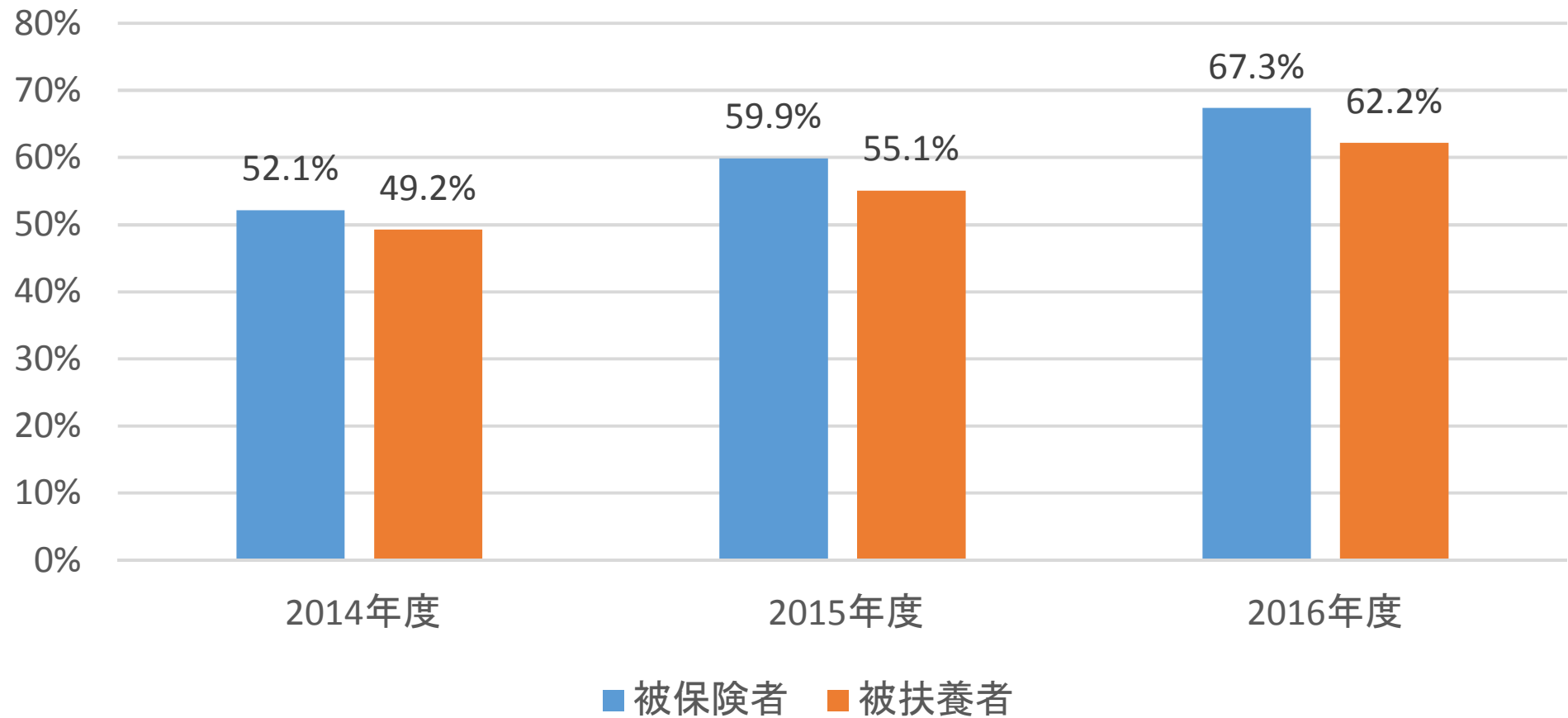


セ. 加入資格別歯科医療費

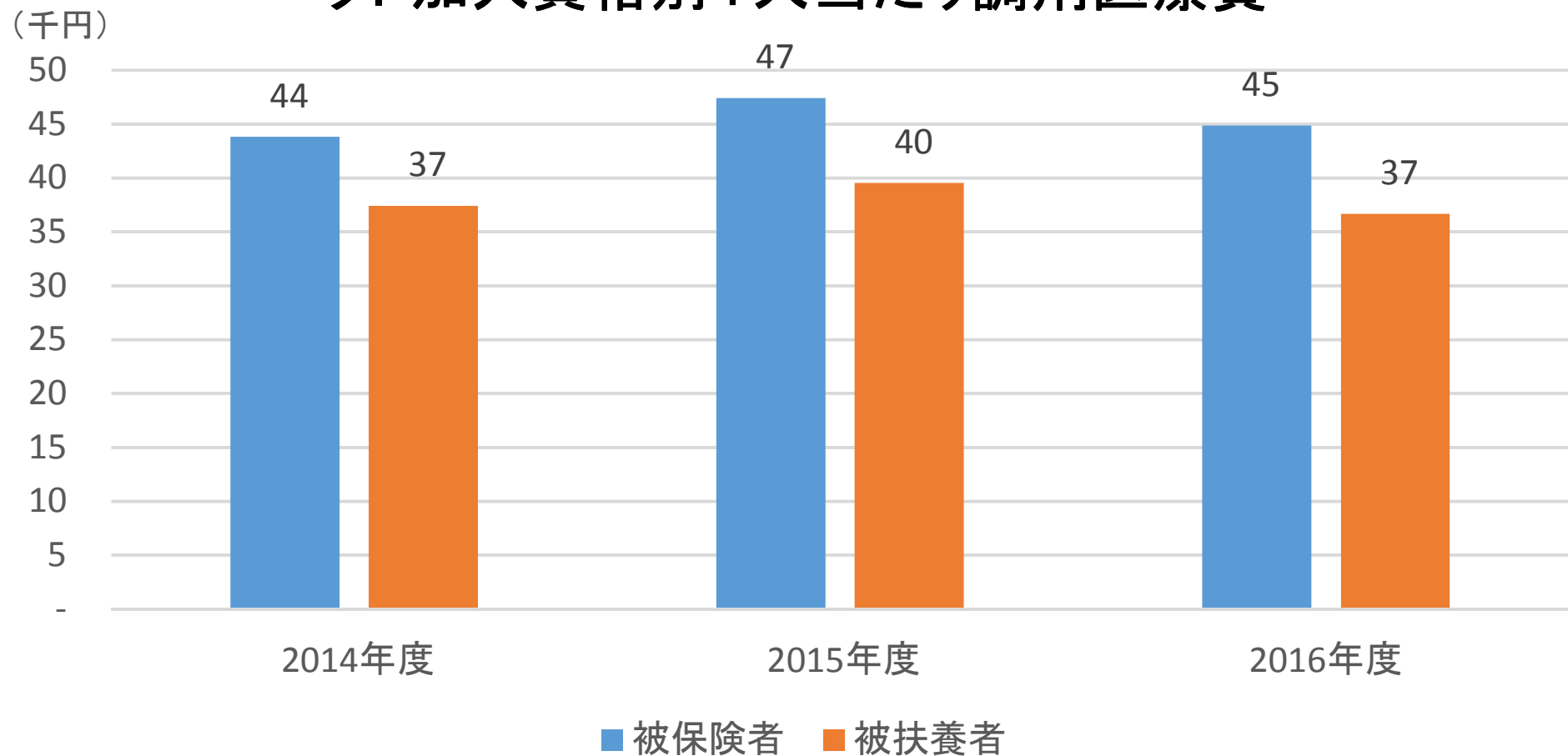
■ 被保険者 ■ 被扶養者 ● 総歯科医療費



ソ. 後発医薬品の使用状況



タ. 加入資格別1人当たり調剤医療費



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ, ウ	- 医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 - 医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 - 加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。	➡	医療費の状況を踏まえた保健事業を企画立案する。	
2	エ, オ, カ, キ	- 医科入院医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「循環器」、「妊婦分娩」で、「新生物」は増加傾向にある。 - 医科入院医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「新生物」、「周産期」である。 - 医科外来医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」で、「新生物」と「内分泌」は増加傾向にある。 - 医科外来医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「呼吸器」で全体の1/4を占める。	➡	医療費の上位傷病への対策を中心として、疾病の発症および重症化予防（早期発見を含む）を目的として、保健事業を企画立案する。	✓
3	ク, ケ	- 特定健診実施率は、被保険者は90%を超えているが、被扶養者は50%台である。 - 特定保健指導実施率は、被保険者、被扶養者ともに10%未満である。	➡	- 特定健診は平成35年度の実施率を国が設定している85%（被保険者と被扶養者合算、内訳：被保険者96%、被扶養者53%）を目標とする。 - 特定保健指導は平成35年度の実施率を国が設定している30%（被保険者と被扶養者合算）を目標とする。	✓
4	コ, サ, シ, ス	- 高血圧症リスク保有者である保健指導および受診勧奨対象者が一定数存在する。ただし、受診勧奨対象者の受診状況は把握できていない。 - 糖尿病リスク保有者である保健指導および受診勧奨対象者が一定数存在する。ただし、受診勧奨対象者の受診状況は把握できていない。 - 脂質異常症リスク保有者である保健指導および受診勧奨対象者が一定数存在する。ただし、受診勧奨対象者の受診状況は把握できていない。	➡	- 健診データとレセプトデータを突合して、受診勧奨対象者の医療機関への受診状況を把握する。 - 高血圧、糖尿病、脂質異常症を中心とした生活習慣病の受診勧奨、重症化予防を行う。	✓
5	セ	歯科医療費は被保険者、被扶養者ともに増加傾向にある。	➡	歯科予防対策、早期発見早期治療対策を行う。	✓
6	ソ, タ	- 厚生労働省は後発医薬品の数量シェアを平成29年央に70%以上とするとともに、平成32年（2020年）9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とする政策目標を掲げている。 - 被保険者、被扶養者ともに60%は超えているが70%には達していない。	➡	後発医薬品の使用割合を被保険者、被扶養者ともに平成30年度中に70%以上とし、平成32年（2020年）9月までに両者ともに80%以上とする。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	- 加入者を年齢別に見ると、女性は20歳以降を中心に増加し、40～44歳が最も多く、45歳以降は減少する。また各年代（5歳階級）とも2～3割が被扶養者である。一方、男性は0～59歳まではほぼ同数で、19歳未満はほぼ被扶養者である。 - 男女比を見ると、20～59歳で女性が多い。35～39歳でその差が最も大きく、続いて40～44歳が大きい。	➡	- 現在は40歳代が最も多いが、今後加入者の構成がさらに高年齢化する見込みであり、加入者が高年齢化を踏まえて対策を検討する。 - 前期高齢者の医療費は、前期高齢者納付金に比例する。前期高齢者の人数は全加入者の1.8%（887人）であるのに対して、医療費は全加入者の5.1%を占めるので、前期高齢者対策を検討する必要がある。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・ 特定健診の受診率は被扶養配偶者が低く、また一部保健事業で利用率、参加率が低い事業がある。 ・ 生活習慣病への対策は、特定保健指導のみであり、その実施率が低い。特定保健指導該当者以外のリスク保有者（非肥満、40歳未満、通院治療中、要治療未治療者）への対策は講じていない。 ・ 職場環境の整備に関わる事業を行っていない。	➡	・ 保健事業への利用率、参加率を高める対策を講じることを検討する。 ・ 特定保健指導該当者以外のリスク保有者への対策を検討する。 ・ 被扶養者への保健事業実施率向上のため、意識の向上等の対策を検討する。 ・ 一日のうち多くの時間を過ごす職場環境の整備と積極的な加入者への働きかけを事業主と連携をとって行っていく。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 ・新生物、生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症）、歯科の医療費を縮減する	事業全体の目標 ・特定健診の実施率（被保険者+被扶養者）を85%にする ・特定保健指導の実施率（被保険者+被扶養者）を30%にする ・各種検診（脳ドック、肺検査、歯科検診）の実施率を毎年向上させる ・生活習慣病のリスク保有者のうち、未治療者を受診させる
---	---

事業の一覧

職場環境の整備	
疾病予防	健康白書
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙発行
保健指導宣伝	育児情報誌配付
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	後発医薬品差額通知
疾病予防	家庭常備薬配付
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳ドック
疾病予防	肺検査
疾病予防	婦人科検査
疾病予防	前立腺検査
疾病予防	C型肝炎検査
疾病予防	生活習慣病重症化予防
疾病予防	歯科検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	こころとからだの健康相談
疾病予防	メンタルヘルスセミナー
疾病予防	らくらく禁煙コンテスト
体育奨励	潮干狩り大会
体育奨励	軟式野球大会
体育奨励	リフレッシュウォーク
体育奨励	ビーチボール大会
体育奨励	ウォークラリー
体育奨励	ボウリング大会
体育奨励	指定宿泊施設
体育奨励	レジャー施設
体育奨励	体育契約施設
体育奨励	事業所別体育奨励
体育奨励	ハッピーウォーク
体育奨励	保養施設の利用補助

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画									
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度				
アウトプット指標													アウトカム指標									
職場環境の整備																						
疾病 予防	1	新規	健康白書	一部の事業所	男女	0～74	被保険者、被扶養者	1	イ,ウ,キ,ク,ケ,シ	事業所毎の健康白書を作成して持参し、各地の事業所を巡回訪問し、事業所の健康課題等について共有、意見交換を行う。	ア	-	1,500	-	-	-	-	-	事業所毎の健康白書を作成し、50拠点を巡回する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	巡回拠点数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：50件 平成31年度：50件 平成32年度：50件 平成33年度：50件 平成34年度：50件 平成35年度：50件)-													各事業の健康白書を用いて健康課題を共有して、コラボヘルスを進めるが、当初はそれを計る測定可能な数値はない。将来的には、事業書毎の医療費や健診データ等をアウトカム指標として検討する。(アウトカムは設定されていません)								
	健康白書作成数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：50件 平成31年度：50件 平成32年度：50件 平成33年度：50件 平成34年度：50件 平成35年度：50件)-																					
	加入者への意識づけ																					
保健 指導 宣伝	2	既存	機関紙発行	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	事業所宛に一括送付し、担当者より被保険者に配布する。	ス	-	14,810	-	-	-	-	-	各種事業・業務関係の情報を掲載し周知を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	配布数(【実績値】 31,000件 【目標値】平成30年度：31,000件 平成31年度：31,000件 平成32年度：31,000件 平成33年度：31,000件 平成34年度：31,000件 平成35年度：31,000件)-													将来的には読者満足度などをアウトカム指標として検討する(アウトカムは設定されていません)								
	2	既存	育児情報誌配付	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者	1	ス	①育児月刊誌「赤ちゃんともママ」を被保険者及び配偶者の出産者に1年目各月配布。 ②育児専門誌（5冊）を上記対象者の各月配布に加え発産時に配布 ③育児季刊誌を上記対象者の2～4年目に各月配布に加え4冊配布。	ス	-	6,425	-	-	-	-	-	子育て支援事業として育児に関する情報を提供する	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
	配布数（育児月刊誌）(【実績値】 141部 【目標値】平成30年度：300部 平成31年度：300部 平成32年度：300部 平成33年度：300部 平成34年度：300部 平成35年度：300部)-													将来的には、読者満足度や小児医療費などをアウトカム指標として検討する。(アウトカムは設定されていません)								
配布数（育児季刊誌）(【実績値】 141部 【目標値】平成30年度：150部 平成31年度：150部 平成32年度：150部 平成33年度：150部 平成34年度：150部 平成35年度：150部)-																						
配布数（育児専門誌）(【実績値】 141部 【目標値】平成30年度：150部 平成31年度：150部 平成32年度：150部 平成33年度：150部 平成34年度：150部 平成35年度：150部)-																						
	2	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	被保険者、被扶養者	1	ス	事業所宛に一括送付し、担当者より該当被保険者に配布する。	ア	-	4,000	-	-	-	-	-	医療費のコスト意識の喚起および受診状況の確認	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。 ・歯科医療費は被保険者、被扶養者ともに増加傾向にある。		
	通知数(【実績値】 92,673件 【目標値】平成30年度：92,000件 平成31年度：92,000件 平成32年度：92,000件 平成33年度：92,000件 平成34年度：92,000件 平成35年度：92,000件)配布数（被保険者）、配布数（被扶養者）													事業目的が医療費コスト意識喚起および受診状況の確認であるため、測定可能な成果評価が困難なため(アウトカムは設定されていません)								
	2	既存	後発医薬品差額通知	全て	男女	0～74	被保険者、被扶養者	1	ス	受診者に服薬中の先発薬と後発医薬品との差額を通知する。	ス	-	5,000	-	-	-	-	-	後発医薬品の利用促進	・厚生労働省は後発医薬品の数量シェアを平成29年央に70%以上とするとともに、平成32年（2020年）9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とする政策目標を掲げている。 ・被保険者、被扶養者ともに60%は超えているが70%には達していない。		
	通知数(【実績値】 3,108件 【目標値】平成30年度：3,000件 平成31年度：3,000件 平成32年度：3,000件 平成33年度：3,000件 平成34年度：3,000件 平成35年度：3,000件)-													後発医薬品使用率(【実績値】 69.2% 【目標値】平成30年度：70% 平成31年度：75% 平成32年度：80% 平成33年度：80% 平成34年度：80% 平成35年度：80%)後発医薬品使用率（被保険者）、後発医薬品使用率（被扶養者）								
													1,199,164	-	-	-	-	-				

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画											
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度						
	アウトプット指標												アウトカム指標											
疾病 予防	2,8	既存	家庭常備薬配付	全て	男女	18 ～ 74	被保険者	1	シ	全被保険者に家庭常備薬を配布	ア,ケ	-	全被保険者に配布する	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	セルフメディケーションの意識づけと受診抑制	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。				
	申込率(【実績値】94.3% 【目標値】平成30年度：90% 平成31年度：90% 平成32年度：90% 平成33年度：90% 平成34年度：90% 平成35年度：90%)-													利用者アンケートにより満足度等のアウトカム指標を検討する。 中長期的に医療費の動向をみていく。 (アウトカムは設定されていません)										
個別の事業																								
特定健康 診査事業	3	既存	特定健診	全て	男女	40 ～ 74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ク,ケ,シ	40歳以上の特定健診受診対象となる被保険者・被扶養者について、特定健診で定められている健診項目のみで実施	ア,キ	-	被保険者・被扶養者対象に特定健診を実施する	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	生活習慣病糖の早期発見	・特定健診実施率は、被保険者は90%を超えているが、被扶養者は50%台である。 ・特定保健指導実施率は、被保険者、被扶養者ともに10%未満である。				
	実施数(【実績値】16,557人 【目標値】平成30年度：17,010人 平成31年度：17,010人 平成32年度：17,220人 平成33年度：17,430人 平成34年度：17,640人 平成35年度：17,850人)実施数（被保険者）、実施数（被扶養者）													特定保健指導対象者(【実績値】7.3% 【目標値】平成30年度：13.2% 平成31年度：13.4% 平成32年度：13.6% 平成33年度：13.8% 平成34年度：14.0% 平成35年度：14.2%)次年度の保健指導対象者の割合 一般的な有所見率のほか、疾病単位の有所見率も検討する										
	実施率（被保険者）(【実績値】86.2% 【目標値】平成30年度：92.0% 平成31年度：92.0% 平成32年度：93.0% 平成33年度：94.0% 平成34年度：95.0% 平成35年度：96.0%)全国各地の健診機関で実施する人間ドック・生活習慣病健診が特定健診を兼ねているので、被保険者の特定健診受診者を合算して実施率を計算する。																							
	実施率（被扶養者）(【実績値】48.6% 【目標値】平成30年度：49.0% 平成31年度：49.0% 平成32年度：50.0% 平成33年度：51.0% 平成34年度：52.0% 平成35年度：53.0%)全国各地の健診機関で実施する人間ドック・生活習慣病健診が特定健診を兼ねているので、被扶養者の特定健診受診者を合算して実施率を計算する。																							
特定保健 指導事業	4	既存	特定保健指導	全て	男女	40 ～ 74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	オ,キ,ク,ケ,シ	医療機関等と契約し面談、メール等により実施	ア,ウ,キ,ケ,コ	-	医療機関等と契約し面談、メール等により特定保健指導を実施する	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	生活習慣病発症予防、生活習慣病予備群の生活習慣・健診結果の改善	・特定健診実施率は、被保険者は90%を超えているが、被扶養者は50%台である。 ・特定保健指導実施率は、被保険者、被扶養者ともに10%未満である。				
	実施率(【実績値】7% 【目標値】平成30年度：10.0% 平成31年度：12.0% 平成32年度：15.0% 平成33年度：20.0% 平成34年度：25.0% 平成35年度：30.0%)-													将来的には保健指導前後のリスク要因の変化の指標を検討する (アウトカムは設定されていません)										
	継続率(【実績値】5% 【目標値】平成30年度：10.0% 平成31年度：12.0% 平成32年度：15.0% 平成33年度：20.0% 平成34年度：25.0% 平成35年度：30.0%)参加者の特定保健指導プログラム終了率																							
疾病 予防	3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	35 ～ 74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ケ,シ	健診機関に委託し35歳以上の被保険者・被扶養者に生活習慣病のスクリーニング検査を実施。特定健診を兼ねている。	ア,キ	-	健診機関に委託し35歳以上の被保険者・被扶養者に実施	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	生活習慣病の早期発見	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。 ・医科入院医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「循環器」、「妊婦分娩」で、「新生物」は増加傾向にある。 ・医科入院医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」で、「新生物」と「内分泌」は増加傾向にある。 ・医科外来医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」は増加傾向にある。 ・医科外来医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「呼吸器」で全体の1/4を占める。 ・特定健診実施率は、被保険者は90%を超えているが、被扶養者は50%台である。 ・特定保健指導実施率は、被保険者、被扶養者ともに10%未満である。				
	140,400																							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度			平成34年度	平成35年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
実施数(【実績値】 5,300人 【目標値】 平成30年度：5,700人 平成31年度：5,700人 平成32年度：5,700人 平成33年度：5,700人 平成34年度：5,700人 平成35年度：5,700人)特定健診を兼ねている												特定健診対象者(【実績値】 7.3% 【目標値】 平成30年度：13.2% 平成31年度：13.4% 平成32年度：13.6% 平成33年度：13.8% 平成34年度：14.0% 平成35年度：14.2%)次年度保健指導対象者の割合 将来的には一般的な有所見率のほか、疾病単位の有所見率も検討する											
3	既存	人間ドック	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ケ,シ	健診機関に委託して40歳以上の被保険者・被扶養者に実施。特定健診を兼ねている。	ア,キ	-	686,400	-	-	-	-	-	生活習慣病やがんなどの疾病の早期発見	・医療費が'対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。 ・医科入院医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「循環器」、「妊婦分娩」で、「新生物」は増加傾向にある。 ・医科入院医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「新生物」、「周産期」である。 ・医科外来医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」で、「新生物」と「内分泌」は増加傾向にある。 ・医科外来医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「呼吸器」で全体の1/4を占める。 ・特定健診実施率は、被保険者は90%を超えているが、被扶養者は50%台である。 ・特定保健指導実施率は、被保険者、被扶養者ともに10%未満である。				
実施数(【実績値】 16,705人 【目標値】 平成30年度：17,600人 平成31年度：17,600人 平成32年度：17,600人 平成33年度：17,600人 平成34年度：17,600人 平成35年度：17,600人)-												特定保健指導対象者(【実績値】 7.3% 【目標値】 平成30年度：13.2% 平成31年度：13.4% 平成32年度：13.6% 平成33年度：13.8% 平成34年度：14.0% 平成35年度：14.2%)保健指導対象者の割合 将来的には一般的な有所見率のほか、疾病単位の有所見率も検討する											
3	既存	脳ドック	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ケ,シ	健診機関に委託して40歳以上の被保険者・被扶養者にMRI・MRA検査を2年度に1回希望者に実施。	ア,キ	-	33,480	-	-	-	-	-	脳血管疾患の早期発見	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。 ・医科入院医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「循環器」、「妊婦分娩」で、「新生物」は増加傾向にある。 ・医科入院医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「新生物」、「周産期」である。 ・医科外来医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」で、「新生物」と「内分泌」は増加傾向にある。 ・医科外来医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「呼吸器」で全体の1/4を占める。				
実施数(【実績値】 2,277人 【目標値】 平成30年度：2,700人 平成31年度：2,700人 平成32年度：2,700人 平成33年度：2,700人 平成34年度：2,700人 平成35年度：2,700人)-												将来的には有所見率の指標も検討する (アウトカムは設定されていません)											
												28,620	-	-	-	-	-						

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
3		既存	肺検査	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ウ,ケ,シ	生活習慣病健診、人間ドック受診者で40歳以上の希望者に実施	ア,キ	-		生活習慣病健診または人間ドック受診者で40歳以上の被保険者・被扶養者のうち、希望者に実施する	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	肺がん等の早期発見	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。 ・医科入院医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「循環器」、「妊婦分娩」で、「新生物」は増加傾向にある。 ・医科入院医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「新生物」、「周産期」である。 ・医科外来医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」で、「新生物」と「内分泌」は増加傾向にある。 ・医科外来医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「呼吸器」で全体の1/4を占める。			
実施数(【実績値】 4,743人 【目標値】 平成30年度：5,100人 平成31年度：5,100人 平成32年度：5,100人 平成33年度：5,100人 平成34年度：5,100人 平成35年度：5,100人)実施数（被保険者）、実施数（被扶養者）																									
3		既存	婦人科検査	全て	女性	35～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	イ,ウ,ケ,シ	生活習慣病健診、人間ドック女性受診者で35歳以上の希望者に実施	ア,ケ	-	59,724	実施する	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	婦人科疾患およびがんの早期発見	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。 ・医科入院医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「循環器」、「妊婦分娩」で、「新生物」は増加傾向にある。 ・医科入院医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「新生物」、「周産期」である。 ・医科外来医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」で、「新生物」と「内分泌」は増加傾向にある。 ・医科外来医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「呼吸器」で全体の1/4を占める。			
実施数(【実績値】 20,998人 【目標値】 平成30年度：23,000人 平成31年度：23,000人 平成32年度：23,000人 平成33年度：23,000人 平成34年度：23,000人 平成35年度：23,000人)-																									
3		既存	前立腺検査	全て	男性	50～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	イ,ウ,ケ,シ	生活習慣病健診、人間ドック男性受診者で50歳以上の希望者に実施	ア,ケ	-	9,180	実施する	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前立腺がんの早期発見	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。 ・医科入院医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「循環器」、「妊婦分娩」で、「新生物」は増加傾向にある。 ・医科入院医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「新生物」、「周産期」である。 ・医科外来医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」で、「新生物」と「内分泌」は増加傾向にある。 ・医科外来医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「呼吸器」で全体の1/4を占める。			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度			平成34年度	平成35年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
実施数(【実績値】 4,926人 【目標値】 平成30年度：5,400人 平成31年度：5,400人 平成32年度：5,400人 平成33年度：5,400人 平成34年度：5,400人 平成35年度：5,400人)-												将来的には有所見率の指標も検討する (アウトカムは設定されていません)											
3	既存	C型肝炎検査	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者、基準該当者	1	イ、ケ、シ	生活習慣病健診、人間ドック受診者で健保加入期間中1回、40歳以上の希望者に実施	ア、ケ	-	実施する	1,728	-	-	-	-	-	C型肝炎の早期発見	・ 医科入院医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「循環器」、「妊婦分娩」で、「新生物」は増加傾向にある。 ・ 医科入院医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「新生物」、「周産期」である。 ・ 医科外来医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」で、「新生物」と「内分泌」は増加傾向にある。 ・ 医科外来医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「呼吸器」で全体の1/4を占める。			
実施数(【実績値】 10,268人 【目標値】 平成30年度：11,200人 平成31年度：11,200人 平成32年度：11,200人 平成33年度：11,200人 平成34年度：11,200人 平成35年度：11,200人)-												将来的には有所見率の指標も検討する (アウトカムは設定されていません)											
4	新規	生活習慣病重症化予防	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者、基準該当者	1	イ、オ、キ、ク、ケ	健診データ及び医療費の分析により対象者を抽出し、糖尿病等のリスク保有者に対して保健指導と受診勧奨を実施する。	ア、ケ	-	生活習慣病重症化予防事業を実施	19,500	-	-	-	-	-	糖尿病、高血圧等の生活習慣病リスク保有者の重症化予防または受診勧奨	・ 高血圧症リスク保有者である保健指導および受診勧奨対象者が一定数存在する。ただし、受診勧奨対象者の受診状況は把握できていない。 ・ 糖尿病リスク保有者である保健指導および受診勧奨対象者が一定数存在する。ただし、受診勧奨対象者の受診状況は把握できていない。 ・ 脂質異常症リスク保有者である保健指導および受診勧奨対象者が一定数存在する。ただし、受診勧奨対象者の受診状況は把握できていない。			
実施数(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：100人 平成31年度：100人 平成32年度：100人 平成33年度：100人 平成34年度：100人 平成35年度：100人)重症化予防対象者、受診勧奨対象者 (事業を検討のうえ、アウトプット指標を検討する。)												将来的には生活習慣病リスク保有者数の指標等を検討する (アウトカムは設定されていません)											
3	既存	歯科検診	全て	男女	18～74	被保険者、基準該当者	1	ウ、シ	無料で出張歯科検診を事業所単位で実施。事前に希望アンケートを行い、優先順位をつけ、個別に事業所にアプローチして実施を決定する。	ア、キ	-	無料で出張型歯科検診を事業所単位で実施する。	16,800	-	-	-	-	-	口腔疾患の予防啓発と歯科医療日の縮減	・ 歯科医療費は被保険者、被扶養者ともに増加傾向にある。			
実施事業所(【実績値】 3件 【目標値】 平成30年度：3件 平成31年度：3件 平成32年度：3件 平成33年度：3件 平成34年度：3件 平成35年度：3件)-												有所見率(【実績値】 47% 【目標値】 平成30年度：45% 平成31年度：45% 平成32年度：45% 平成33年度：45% 平成34年度：45% 平成35年度：45%)中長期的に歯科医療費の動向をみていく。											
実施数(【実績値】 308人 【目標値】 平成30年度：500人 平成31年度：500人 平成32年度：500人 平成33年度：500人 平成34年度：500人 平成35年度：500人)-												-											
3	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ、シ	被保険者及び被扶養者を対象にインフルエンザ予防接種の費用補助	ア、キ	-	実施する	91,500	-	-	-	-	-	インフルエンザ感染予防、重症化予防	・ 医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・ 医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・ 加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。 ・ 医科入院医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「循環器」、「妊婦分娩」で、「新生物」は増加傾向にある。 ・ 医科入院医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「新生物」、「周産期」である。 ・ 医科外来医療費の被保険者では、10%を超えるのは「新生物」、「呼吸器」、「内分泌」で、「新生物」と「内分泌」は増加傾向にある。 ・ 医科外来医療費の被扶養者では、10%を超えるのは「呼吸器」で全体の1/4を占める。			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラクチャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年齢						実施計画						
												平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度		

アウトプット指標												アウトカム指標									
接種数(【実績値】 28,690人 【目標値】 平成30年度：30,000人 平成31年度：30,000人 平成32年度：30,000人 平成33年度：30,000人 平成34年度：30,000人 平成35年度：30,000人)接種数（被保険者）、接種数（被扶養者）												将来的にはインフルエンザ罹患患者数等の指標を検討する (アウトカムは設定されていません)									
6	既存	こころとからだの健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ,シ	専門機関に委託して被保険者及び被扶養者の心のカウンセリングを実施。専門機関に委託して被保険者とその家族を対象に総合的な健康相談を実施。	ア,ケ	-	4,132	-	-	-	-	-	メンタルヘルスの向上	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。		
												被保険者及び被扶養者を対象として、メンタルカウンセリングを実施する。また、こころとからだの無料相談窓口を開設して年中無休・24時間体制で電話やメールにて相談対応する。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。				
メンタルヘルスカウンセリング実施数(【実績値】 86件 【目標値】 平成30年度：135件 平成31年度：135件 平成32年度：135件 平成33年度：135件 平成34年度：135件 平成35年度：135件)-												将来的には、利用者の満足度評価等、アウトカム指標を検討する (アウトカムは設定されていません)									
健康相談件数(【実績値】 88件 【目標値】 平成30年度：82件 平成31年度：82件 平成32年度：82件 平成33年度：82件 平成34年度：82件 平成35年度：82件)-																					
5	既存	メンタルヘルスセミナー	全て	男女	18～74	被保険者,基準該当者	1	ケ,シ	役員・管理職・人事担当者を対象に年1回実施	ア,ケ	-	2,000	-	-	-	-	-	産業保健とメンタルヘルスの現状の理解	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。		
												役員・管理職・人事担当者を対象に年1回実施する。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。				
参加者(【実績値】 72人 【目標値】 平成30年度：75人 平成31年度：75人 平成32年度：75人 平成33年度：75人 平成34年度：75人 平成35年度：75人)-												(アウトカムは設定されていません)									
5	既存	らくらく禁煙コンテスト	全て	男女	20～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ケ,シ	喫煙の健康被害に対する教育と禁煙を目的に被保険者及び被扶養者を対象に実施する。専用プログラムで1ヶ月の禁煙にチャレンジする。	ア,ケ	-	500	-	-	-	-	-	喫煙者の禁煙実行支援	・医療費が対前年比数%の伸びで増加している。 ・医療費区分別の状況は、医科外来42%、医科入院26%、歯科12%、調剤20%で割合はほぼ一定である。 ・加入資格区分別では、およそ被保険者6割、被扶養者4割である。		
												らくらく禁煙コンテストを実施する	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。				
申込者(【実績値】 5人 【目標値】 平成30年度：14人 平成31年度：14人 平成32年度：14人 平成33年度：14人 平成34年度：14人 平成35年度：14人)申込者数80名 脱喫煙率30%を目標												喫煙成功者(【実績値】 2人 【目標値】 平成30年度：5人 平成31年度：5人 平成32年度：5人 平成33年度：5人 平成34年度：5人 平成35年度：5人)-									
体育奨励	8	既存	潮干狩り大会	全て	男女	4～74	加入者全員	1	ケ,シ	被保険者及び被扶養者を対象に実施。潮干狩り大会開催日に団体券で入場して実施。	ア,ケ	-	1,996	-	-	-	-	-	健康増進及び親睦を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
													潮干狩り大会を実施する	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度		

アウトプット指標													アウトカム指標									
参加者(【実績値】490人) 【目標値】平成30年度：588人 平成31年度：588人 平成32年度：588人 平成33年度：588人 平成34年度：588人 平成35年度：588人)-													測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため (アウトカムは設定されていません)									
8	既存	軟式野球大会	全て	男性	18 ～ 74	被保険者,基準 該当者	1	シ	事業所単位でチームを編成し、予選大会・決勝大会をトーナメント方式で開催する。被保険者男性を対象に実施。	ア,ケ	-		2,272	-	-	-	-	-	健康増進及び親睦を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
参加事業所(【実績値】19件) 【目標値】平成30年度：23件 平成31年度：23件 平成32年度：23件 平成33年度：23件 平成34年度：23件 平成35年度：23件)-													測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため (アウトカムは設定されていません)									
参加者(【実績値】485人) 【目標値】平成30年度：500人 平成31年度：500人 平成32年度：500人 平成33年度：500人 平成34年度：500人 平成35年度：500人)-																						
8	既存	リフレッシュ ウォーク	全て	男女	4 ～ 74	加入者 全員	1	ケ	開催日にチケットを配布し、フリーでアトラクションを楽しむ。被保険者及び被扶養者を対象に実施。	ア,ケ	-		14,030	-	-	-	-	-	健康増進及び親睦を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
参加事業所(【実績値】67件 参加者数1,200名を目標) 【目標値】平成30年度：70件 平成31年度：70件 平成32年度：70件 平成33年度：70件 平成34年度：70件 平成35年度：70件)-													測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため (アウトカムは設定されていません)									
参加者(【実績値】1,694人 年度：1,600人)- 【目標値】平成30年度：1,600人 平成31年度：1,600人 平成32年度：1,600人 平成33年度：1,600人 平成34年度：1,600人 平成35年度：1,600人)-																						
8	既存	ビーチボール大会	全て	男女	18 ～ 74	被保険者	1	ケ	各チーム4試合行い、勝ち点で順位を決定する。被保険者を対象に実施。	ア,ケ	-		1,132	-	-	-	-	-	健康増進及び親睦を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
参加事業所(【実績値】9件) 【目標値】平成30年度：12件 平成31年度：12件 平成32年度：12件 平成33年度：12件 平成34年度：12件 平成35年度：12件)-													測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため (アウトカムは設定されていません)									
参加者(【実績値】139人) 【目標値】平成30年度：160人 平成31年度：160人 平成32年度：160人 平成33年度：160人 平成34年度：160人 平成35年度：160人)-																						
8	既存	ウォークラリー	全て	男女	18 ～ 74	被保険者,被扶 養者,基 準該当者	1	ケ	首都圏や地方のウォーキングコースで実施。被保険者及び被扶養者を対象に実施。	ア,ケ	-		4,600	-	-	-	-	-	健康増進及び親睦を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
参加事業所(【実績値】32件 参加者数60名を目標) 【目標値】平成30年度：35件 平成31年度：35件 平成32年度：35件 平成33年度：35件 平成34年度：35件 平成35年度：35件)-													測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため (アウトカムは設定されていません)									
参加者(【実績値】92人) 【目標値】平成30年度：80人 平成31年度：80人 平成32年度：80人 平成33年度：80人 平成34年度：80人 平成35年度：80人)-																						
8	既存	ボウリング大会	全て	男女	7 ～ 74	被保険者,被扶 養者	1	ケ	ひとり3ゲーム投げて順位を決定	ア,ケ	-		1,390	-	-	-	-	-	健康増進及び親睦を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
参加事業所(【実績値】15件) 【目標値】平成30年度：17件 平成31年度：17件 平成32年度：17件 平成33年度：17件 平成34年度：17件 平成35年度：17件)-													測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため (アウトカムは設定されていません)									
参加者(【実績値】152人) 【目標値】平成30年度：160人 平成31年度：160人 平成32年度：160人 平成33年度：160人 平成34年度：160人 平成35年度：160人)-																						
8	既存	指定宿泊施設	全て	男女	4 ～ 74	加入者 全員,被 保険者, 被扶養者	1	ケ	伊豆の民宿と年間契約による開設	ア,ケ	-		700	-	-	-	-	-	保養とリフレッシュを図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
利用者(【実績値】63人) 【目標値】平成30年度：85人 平成31年度：85人 平成32年度：85人 平成33年度：85人 平成34年度：85人 平成35年度：85人)-													測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため。 将来的に利用者アンケート等からアウトカム指標を検討する。 (アウトカムは設定されていません)									
8	既存	レジャー施設	全て	男女	3 ～ 74	加入者 全員,被 保険者, 被扶養者	1	ケ	全国主要都市のレジャー施設を利用。年間契約・シーズン（夏季・冬季）契約による開設	ア,ケ	-		11,950	-	-	-	-	-	健康増進として実施	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
利用者(【実績値】7,993人 年度：9,200人)- 【目標値】平成30年度：9,200人 平成31年度：9,200人 平成32年度：9,200人 平成33年度：9,200人 平成34年度：9,200人 平成35年度：9,200人)-													測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため。 将来的に利用者アンケート等からアウトカム指標を検討する。 (アウトカムは設定されていません)									

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度			平成34年度	平成35年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
8	既存	体育契約施設	全て	男女	16～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ケ	コナミスポーツ・ルネサンスとの契約による開設	ア,ケ	-	34,076	-	-	-	-	-	健康増進事業として実施	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
												体育契約施設を継続開設	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。							
利用者(【実績値】8,421人年度：7,400人)-												【目標値】平成30年度：7,400人	平成31年度：7,400人	平成32年度：7,400人	平成33年度：7,400人	平成34年度：7,400人	平成35年度：7,400人	測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため。 (アウトカムは設定されていません)						
8	既存	事業所別体育奨励	一部の事業所	男女	18～74	被保険者,基準該当者	1	ケ	首都圏以外の事業所主催行事を支援し、補助金を支給	ア,ケ	-	4,500	-	-	-	-	-	健康増進及び親睦を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
												実施	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。			前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。				
利用者(【実績値】2,134人年度：2,000人)-												【目標値】平成30年度：2,000人	平成31年度：2,000人	平成32年度：2,000人	平成33年度：2,000人	平成34年度：2,000人	平成35年度：2,000人	測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため (アウトカムは設定されていません)						
8	既存	ハッピーウォーク	全て	男女	0～74	加入者全員,被保険者,被扶養者	1	ケ	開催日にチケットを配布し、フリーでアトラクションを楽しむ。	ア,ケ	-	6,670	-	-	-	-	-	健康増進及び親睦を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
												ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで開催	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。			前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。				
参加事業所(【実績値】33件												【目標値】平成30年度：35件	平成31年度：35件	平成32年度：35件	平成33年度：35件	平成34年度：35件	平成35年度：35件)-	測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため (アウトカムは設定されていません)						
参加者(【実績値】363人年度：-												【目標値】平成30年度：390人	平成31年度：390人	平成32年度：390人	平成33年度：390人	平成34年度：390人	平成35年度：390人)-							
8	既存	保養施設の利用補助	全て	男女	0～74	加入者全員,被保険者,被扶養者	1	ケ	保養とリフレッシュを目的とし、補助金を支給	ア,ケ	-	99,900	-	-	-	-	-	保養とリフレッシュを図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
												実施	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。	前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。			前年度末に振り返りを行い、計画の見直し検討を行う。				
利用泊数(【実績値】27,102泊平成35年度：29,800泊)-												【目標値】平成30年度：29,800泊	平成31年度：29,800泊	平成32年度：29,800泊	平成33年度：29,800泊	平成34年度：29,800泊	平成35年度：29,800泊	測定可能なアウトカム指標を設定するのは困難なため。 将来的に利用者アンケート等からアウトカム指標を検討する。 (アウトカムは設定されていません)						

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3)
ア. 加入者等へのインセンティブを付与
イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況）
ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況）
エ. ICTの活用（情報提供でのICT活用など）
オ. 専門職による対面での健診結果の説明
カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）
ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備）
コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用
サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用
シ. 事業主と健康課題を共有
ス. その他

注4)
ア. 事業主との連携体制の構築
イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築
ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く）
エ. 他の保険者との共同事業
オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築
カ. 自治体との連携体制の構築
キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築
ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築
コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意）
サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理）
シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置）
ス. その他